

ちいきの健康 未来につながるこくほ

第62巻 第4号

ふくしまの国保

福島県国民健康保険団体連合会広報誌 平成25年11月30日発行 <http://www.fukushima-kokuho.jp/>

4



【トピックス】

国保制度改善強化全国大会

国民健康保険法施行75周年記念式典

福島県国民健康保険団体連合会

Contents



- P01 彩四季
齋藤 文英 (会津坂下町長)
- P02 国保連合会の医療費適正化対策
レセプトの電子化に対応した審査事務共助
—効率的、効果的かつ適正な審査を目指して—
- P04 Dr. の健康メモ
旭 浩一 (福島県国保診療報酬審査委員会委員)
- P06 My Essay ~ 国保の仲間たち ~
横田 光洋 (須賀川市 総合サービス課)
田部ひかる (会津美里町 健康ほけん課)
- P08 トピックス
国保制度改善強化全国大会
- P09 DATA LAND
- P14 連合会日誌
- P16 連合会行事予定・連合会からのお知らせ・編集後記
- 巻末 トピックス
国民健康保険法施行75周年記念式典

表紙のこぼし



●十六沼公園

福島市

今年4月、福島市十六沼公園に大小5つのコブからなる大型空気遊具「びよんびよんドーム」がオープンしました。それまでも滑り台などの遊具があり、子供たちは元気に遊んでいましたが、今まで以上に飛んだり走ったり肌を赤くし汗をかきながら楽しんでいました。そんな姿を見ていると、やはり「子供は風の子」がいいものです。

福島の国保

検索

本会ホームページに「ふくしまの広報」を公開しています。本誌バックナンバーの閲覧のほか、テレビCMや新聞広報など、本会が実施している広報事業を紹介しています。

福島県国保連合会事業振興課企画係
TEL 024-523-2752
FAX 024-523-2704
E-Mail: jigyou@fukushima-kokuho.jp

<http://www.fukushima-kokuho.jp/>



■発行所 福島県国民健康保険団体連合会
福島県福島市中町3番7号
TEL 024-523-2700(代) FAX 024-524-1041(代)

■印刷所 株式会社 阿部紙工
福島市庄野字柿場1-11

彩四季

健診受診率アップで 健康なまちづくりを

会津盆地の中心に位置した会津坂下町は、古くから越後街道の交通の要所として発展して来ました。

私は、去る6月に行われました町長選挙におきまして「笑顔あふれる郷土のために」をスローガンに初の当選をさせていただきました。

現在、日本は超高齢化社会を迎えており、年金・医療などの社会保障費の増大とともに、経済活動の低迷や地域社会の活力低下が危惧されております。

当町におきましても、人口減少が進み、現在の人口が1万7,000人を割り、高齢化率が35%を超えるなど、重要な課題となっております。

また、町民の健康対策も重要であり、各種施策を実行していますが、特定健診の受診率は、県内でも、高い方でなく、町民の健康を守る上からも、受診率向上に努めていかなければと考えております。

私は、人生の中で、一番大切なのは、健康だと考えております。

私の健康維持対策として、特に変わったことをしていませんが、職務がら会合に出る機会が多いため、朝食を必ず食べる。そして、栄養のバランスの良い食事に心がけております。

特に、野菜や果物をできるだけ多く食べるようにしています。



Bumei Saito

会津坂下町長 齋藤 文英

米や野菜は、自分の家で生産したものを使用しており、豊富な地元の農産物を使い食事を作っております。

次に運動をするようにしています。現代人は、交通手段等の発達により、身体活動量が少なくなっています。

町長就任前は、趣味の、ゴルフや、スキーなどのスポーツを楽しんでおりました。

運動した日は、身心ともリフレッシュし、熟睡することが出来、さわやかな朝を迎えることができます。

町のとりくみとして、多くの町民に運動する機会やきっかけ作りのため、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に開催されるチャレンジデーに参戦しております。

さらに、今年は、わが町出身の北京オリンピックマラソン日本代表の佐藤敦之さんや駒沢大学陸上競技部の大八木監督や選手の皆さんをお迎えし「いにしえ街道マラソン大会」を開催するなど、運動を通じた健康事業のほか、元気に、踊ってスーパーマルコ体操教室を開催するなど、町民の健康向上のため、各種事業を積極的に推進してまいりたいと考えております。

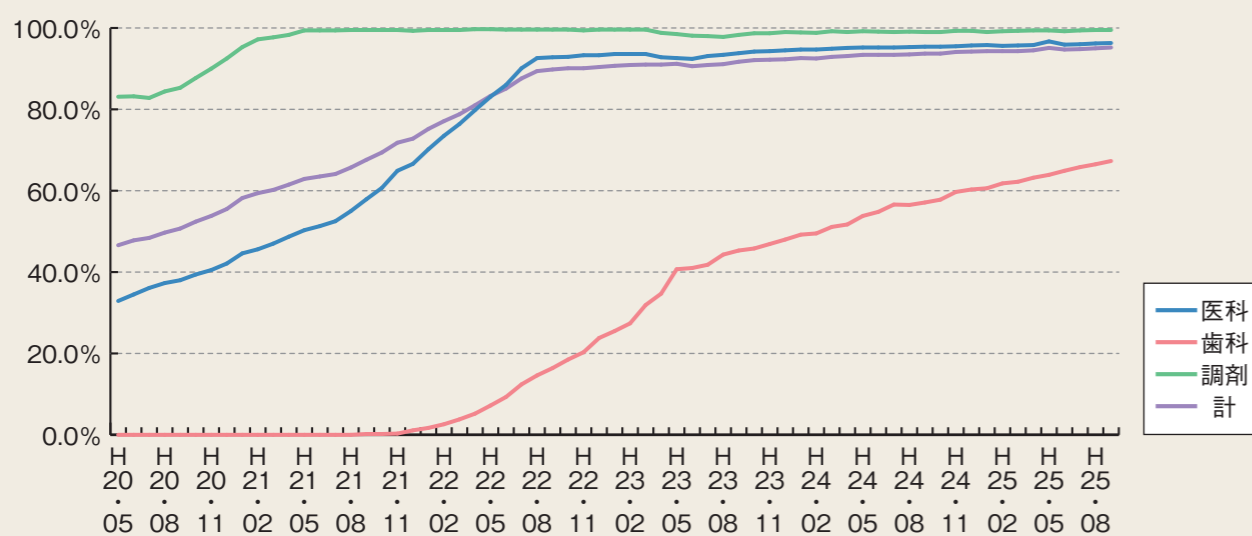
このように、さまざまな機会を通して、スポーツや健診の重要性を周知し、自分自身の健康は自分でまもるを基本に、病気の早期発見に努めていただきたいと思います。

レセプトの電子化に対応した審査事務共助

— 効率的、効果的かつ適正な審査を目指して —

平成27年度より免除される一部の保険医療機関等を除き、レセプトがすべて電子化される。平成25年9月現在、医科レセプトの96.3%、歯科は67.3%、調剤薬局は99.5%、レセプト全体の電子化率は95.2%となっている。

電子化率の推移



本会においては、平成23年10月から国保総合システム（画面審査システム）の導入により、レセプトの電子化に特化した効率的、効果的な審査事務共助を行い、医療費適正化に努めている。

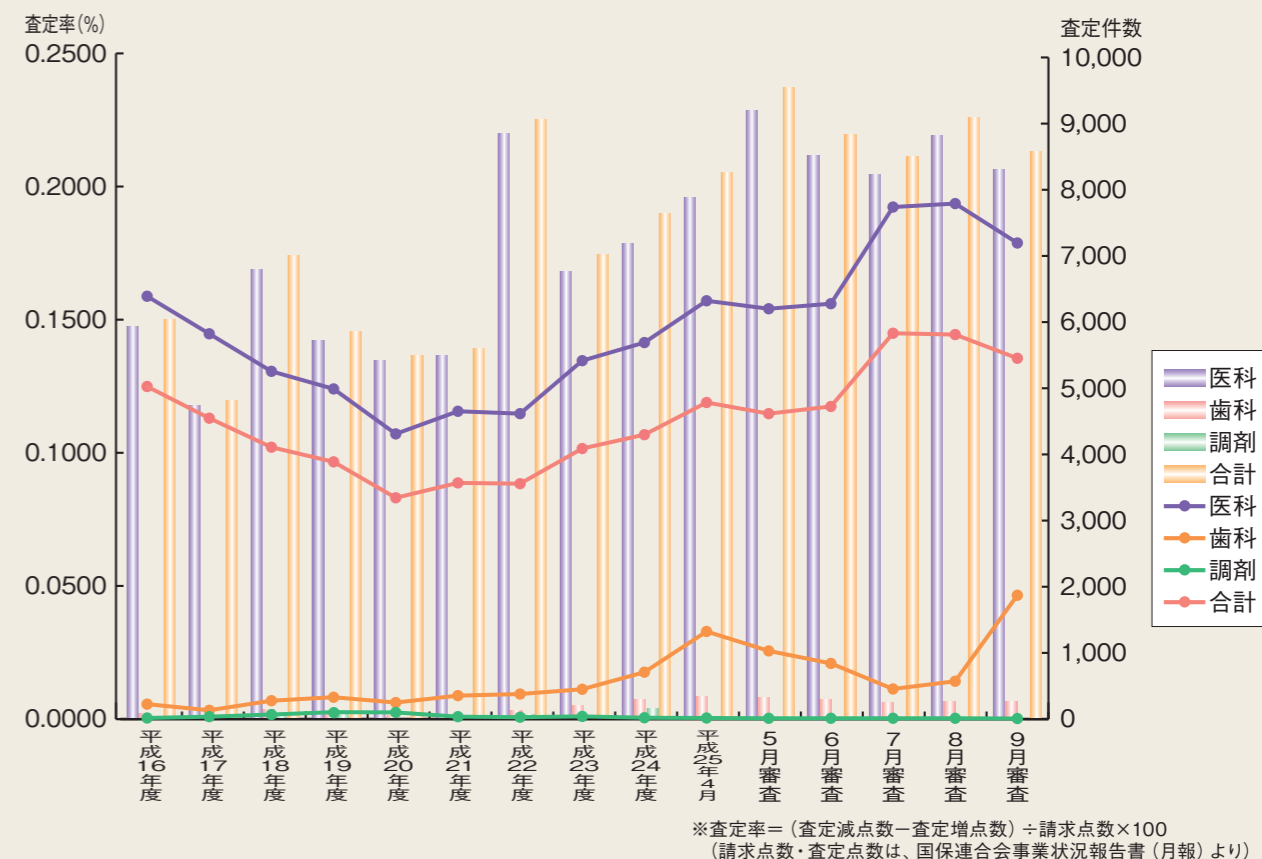
■ 一次審査の充実強化

- 国保総合システムの標準機能である算定ルール（機械チェック）及び縦覧・横覧・突合点検を実施
- 標準機能である算定ルール以外に、レセプト審査事務共助外付けシステムを導入し、より効果的な点検（検査回数、薬剤の適応症、禁忌薬等）を実施
- 日付情報を活用した審査

レセプトの電子化が進み、受付処理が効率的になったことなどにより、審査委員会の会期を平成25年1月より約1週間後へ移行し事務共助期間の拡大を図るとともに、業務体制の見直しを行い、審査委員会では医学的判断を中心とした審査に集中できる環境を整えた。

これらにより一次審査における査定点数は平成25年度上半期月平均で約430万点の効果となっている。査定率についても、平成25年度上半期月平均は医科では0.171%、全体でも0.129%となっており、前年度を大きく上回っている。

査定率の推移



■ 保険者におけるレセプト点検事務の支援

保険者におけるレセプト点検事務の支援として、一次審査では実施できない点検項目等について支援を行っている。

- 二次点検システムを導入し、再審査の可能性のあるレセプト情報の提供
- 保険者のレセプト点検事務に対する助言・支援業務
- 一次審査の結果内容の公開
- 日付情報の添付

これらのことにより、再審査申出の効率的、効果的な実施が可能となり、保険者の事務軽減に寄与することができる。

■ これからの取り組み

- 審査結果照会システムを導入し、保険者再審査のデータ分析結果及び審査基準情報の提供を行う。
- 審査担当職員のスキルアップを図る。

医療費の適正化は、保険者の財政に直接影響するもので、保険者の共同体として設立されている国保連合会の大きな目標の一つである。保険者及び福島県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、レセプトの電子化に対応したさらなる効率化を進めたい。

CKD(慢性腎臓病)を知っていますか？

福島県国保診療報酬審査委員会委員

旭

あさひ

浩

こういち

一

いち



皆さんはCKD（シー・ケー・ディー）をご存知ですか？「慢性腎臓病」の英語Chronic Kidney Diseaseの頭文字をとったものです。CKDはわが国に約1300万人（成人の8人に1人）いるといわれ、平成20年度に福島県のある自治体国保加入者で特定健診を受診した人を見ると約7人に1人がCKDでした。CKDは新たな「国民病」とも言えるとても多い病気です。

腎臓はどんな臓器？

～体内環境を調節する重要臓器～

腎臓は腰の辺りに左右各1個あり、そのままのような形をした、握りこぶしくらいの大きさです。主な働きは、①老廃物を尿として体外に排泄し、体の中をきれいに保つ、②血圧を調節する、③体液の量や濃さ、ミネラルやイオン、酸性・アルカリ性のバランスを保つ、④血液を作るホルモンを分泌する、⑤骨を健康に保つ、など体内の環境を一定にし、生命を保つためにまさに肝腎かなめの臓器です。

CKDはどう診断される？

～尿検査と血液検査～

CKDとは、さまざまな原因により、①蛋白尿が出るなどの腎臓の異常がある、②腎機能（GFR：糸球体濾過量）が健康な人の60%未満に低下している、のいずれかまたは両方が3カ月以上続く状態です。

①は尿検査で主に「尿蛋白」を検出することで分かります。②は血液検査で血中の「クレアチニン値」を測定することで分かります。クレアチニンとは体の老廃物のひとつであり、腎機能が低下していると、尿中に排出されずに血液中の値が上昇します。この「クレアチニン値」と年齢、性別からGFRが推算され、その値を推算GFR値（eGFR）といいます。

CKDはどんな病気？

～知らぬ間に腎不全、心血管病を発症～

CKDの多くはかなり悪くなるまでほとんど自覚症状が出ません。腎臓病の症状とされる貧血や体のむくみ、尿量の減少、だるさや食欲不振などはCKDが相当進行して初めて出ることが多いのです。そのため普段からの定期的な尿検査と血液検査で早期発見することが大切です。腎機能が低下すると最終的には体内に老廃物が溜り、体内環境を調節できなくなり、透析や腎移植が必要な末期腎不全になります。また、蛋白尿が増えたり、GFR（腎機能）が低下するなどCKDが進行するにつれて、脳卒中や心筋梗塞などの心血管病を発症し死亡する危険が大きく高まります。CKDは知らず知らずのうちに私達の健康を脅かす怖い病気と言えます。

CKDの予防

～まず生活習慣（病）の管理が大切～

CKDの発症には、加齢に加え、肥満や運動不足、過度の飲酒、喫煙、ストレスなどの好ましくない生活習慣が大きく関わっています。したがってCKDの予防のためには日頃から肥満の是正、適度の運動、減塩を含む規則正しい食事、節酒、禁煙などに努め、良い生活習慣を心がけることが大切です。高齢の方、ご家族に腎臓病の方がいる場合もCKDの発症に注意が必要です。すでに高血圧、糖尿病、脂質異常症（コレステロールや中性脂肪が高い）、肥満やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病を発症している人は、例え自覚症状がなくてもかかりつけの先生の治療をしっかりと続け、定期的な検査（尿、血液）を受けることが大切です。

CKDの治療は？

～原因、重症度により治療方針～

もし健診や定期検査で、蛋白尿や腎機能

の低下を指摘され、CKDといわれたらまずはかかりつけ医に相談して下さい。医師はまずCKDの原因となる病気が何かを評価し、腎機能、蛋白尿の程度をもとにCKDの重症度を分類します。そしてこれを元に、主に生活習慣の是正、食事、血圧、血糖、脂質、貧血、尿酸などの管理の観点から、それぞれの患者さんの重症度に合わせてCKDの進行を食い止めるための治療方針を判断します。重症度が高い場合は専門医の診察が必要となる場合があります。

生活習慣病や加齢以外の原因によるCKD・腎障害にも注意

CKDは生活習慣病や加齢が原因となることが多いですが、尿検査や血液検査で見つかる腎障害の中には、それとは無関係に腎炎など腎臓固有の病気や、血管炎や膠原病など全身性の病気が原因となり、より急速な悪化を辿る場合もあります。尿蛋白が多く尿潜血（血尿）も伴うなど、そのようなケースが疑われる場合は、出来るだけ早く腎臓病の専門医の診察を受け、腎臓の病理組織検査（腎生検）などの診断に基づいた専門的な治療を始めることが重要です。

あなたの腎臓は大丈夫ですか？

～特定健診の受診のすすめ～

CKDは患者数が非常に多く、確かに怖い病気ですが、適切な治療方針に基づいて早期から治療することにより、末期腎不全（透析、腎移植）や、心血管病に至ることを“防ぐ”あるいは“遅延させる”ことが可能です。皆さんのお住まいの市町村で受けることのできる「特定健診」では必ず尿検査を実施しており、最近では血液検査で血中の「クレアチニン値」の測定を追加する市町村も増えてきました。特定健診・保健指導、かかりつけ医での定期的な検査を上手に利用して、CKDの予防と早期発見・治療に努めましょう。

1年を振り返って



横田 光洋
よこだ みつひろ
須賀川市

Mitsushiro Yokoda

- 所属課・係
総合サービス課 国保係
- 主な業務（担当年数）
資格担当（1年）
- 趣味・特技
バスケットボール



この11月で配属されてちょうど1年になります。

本来であれば平成25年の4月に入庁するところ、震災復興の中ということもあり前年の11月から前倒しで採用され国保系の資格担当として従事しています。

入庁してすぐ配属が国保係と聞いた時には、正直どんな仕事をするのか、そもそも国保とはなんなのかわからない状態でのスタートでした。

また初めての窓口業務で、つい数分前に説明を受けた制度をおうむ返しのように市民の方に説明し、質問されて返答に困り先輩に聞きに行くということを繰り返す毎日でした。また窓口いらっしやる市民の方の相談内容が人それぞれで、それに対応する制度を覚えるのに目が回り、熱を出して寝込んだこともありました。

そんな行き詰まりを感じていたある日、教わったことを忘れないようにメモを取っていたところ、上司から「制度についてのメモを取ることにとらわれずに窓口に出てその中で覚えることも大切

だ」というアドバイスに背中を押され、思い切ってより積極的に窓口に出るようにしたところ、最初こそ大変でしたが、何回か繰り返していくうちに慣れてきて、市民の方の相談内容についても冷静に答えることができ、たまに市民の方からお礼を言われることもあって窓口業務が楽しくなってきました。

そんななか、国保系の先輩方には親切に頂いています。私が業務で悩んでいると、自分の仕事を止めて、資料を探してコピーを取って渡してくれたり、年下の先輩方も中途で入ってきた年上の私に対して構えることなく接してくれて、とても助かりましたし感謝しています。

仕事外ではバスケットボールが趣味で市役所や大学の同級生のチームに所属しています。

バスケは上手ではありませんが、狙い通りに相手を抜いたり、ボールをフリーでもらってシュートを決めたとき楽しくて仕方ありません。

最近腰痛や体力の低下で相手に走り負けたりしてもう年なんだろうかなどと考える時もありますが、職場のチームで30以上の先輩たちがゴール下で相手を押し込んで得点を決めているのを見ると私もまだまだやれるかもと思う毎日です。

今回の寄稿をともし入庁後1年を振り返ると、充実した毎日だったことに気がきました。今後もその日々の積み重ねを踏まえ前向きに業務に取り組んでいこうと思います。



▲国保係のみなさんと

仕事と趣味と私



こんにちは！会津美里町健康ほけん課の田部ひかと申します。昨年4月から国保担当課に配属になりました。初めてだけで戸惑うことも多い日々でしたが、優しく頼れる先輩方に恵まれ、助けられながら日々の業務に励んでいます。

さて、私が社会人となり1年半が経ちましたが、以前までの生活と比べ変わった点がいくつかあります。

まず始めに、“規則正しい生活”が身に付きました。遅寝遅起きだった学生時代とは一変、早寝早起きをし、三度の食事をとり、健康的な毎日が過ごせるようになりました。

また、趣味の時間を持てるようにもなりました。最近の趣味はギターを弾くことで、時間があればジャカジャカかき鳴らしています。

といっても腕前はまだまだなので、練習を重ねていつか人前で披露できるようになればいいなと思っています。

そして、規則正しい生活になったと言っておきながら、お酒を飲みに行く機会が多くなりました。同じ課や係の先輩方と、同期と、女子会で、などなど色々な飲み会に参加することが楽しみのひとつにもなっています。

最近は地元の日本酒や、各地方の日本酒それぞれの味の違いも教えてもらいながら、飲み比べたりもしています。おいしい料理とお酒を楽しみながら、普段はなかなか話すことのできない人たちと話すことで、仕事では見えなかった意外な一面が見えたり、面白いお話を聞くことができたりと、楽しいひと時を過ごしています。行ってみたいお店もまだまだあるので、良いお店があればぜひ教えてください☆

と、このような感じではありますが、社会人になってから充実した毎日を過ごせているの



田部 ひかる
たべ ひかる
会津美里町

Hikaru Tabbe

- 所属課・係
健康ほけん課 保険年金係
- 主な業務（担当年数）
国民年金・国民健康保険
- 趣味・特技
料理、ギター



ではないかなあとこっそり思っております。

仕事ではまだまだ勉強不足で半人前ではありますが、皆さんのお力を借りながら頑張っていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくをお願いします。



▲保険年金係のみなさんと

国保制度改善強化全国大会



国保制度改善強化全国大会

国保の構造的な問題を抜本的に解決し、将来にわたり持続可能な制度を構築するなど9項目を決議

11月21日(木) 東京都「日比谷公会堂」

国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会など国保関係9団体は、国保制度改善強化全国大会を開き、国民皆保険を堅持するため、全ての国民の給付と負担の公平に向けて「国保の構造的な問題を抜本的に解決し、将来にわたり持続可能な制度を構築すること」を求めるなどの9項目の決議を満場一致で採択した。大会終了後には、市町村長を先頭に本県選出の国会議員に対し、本大会決議事項および、第60回国民健康保険東北大会の決議事項の陳情を展開した。また、今回は規制改革会議における審査支払機関の役割分担の見直しに対する特別決議を併せて陳情を行った。



将来にわたり持続可能な制度を構築

大会は、全国市長会を代表して岡山県高梁市の近藤隆則市長が開会の辞を述べ、国保中央会の岡崎誠也会長（高知県高知市長）が主催者9団体を代表して挨拶に立った。

続いて、全国町村会を代表して坂本和昭町長（大分県九重町）が大会宣言を朗読した。

続いて議事に入り、全国町村議会議長会の中川仁志代表（岐阜県大野町議会議長）が決議文を発表し、いずれも満場一致で採択した。

▲全国町村会代表近藤市長(上)と中央会の岡崎会長(下)

最後に全国市議会議長会の石井政代表（三重県名張市議会議長）が閉会の辞を述べ、大会は幕を閉じた。大会終了後、鈴木義孝三春町長（本



◀玄葉光一郎衆議院議員に陳情

決 議

本日ここに、全国の国民健康保険関係者が一堂に会し、国民健康保険が直面する諸問題の改善を期して、国保制度改善強化全国大会を開催し、慎重審議の結果、次のとおり満場一致これを採択した。

国は、国民健康保険制度の現状を踏まえ、次の事項を必ず実現されるよう本大会の総意をもって強く要請する。

一、医療保険制度の一本化を早期に実現すること。

二、「持続可能な社会保険制度の確立を図るための改革の推進」に関する法律案に示された国保制度改革の検討に当たっては、地方の理解を得た上で、法制化等の措置を講ずること。

三、国の責任において、国保の構造的な問題を抜本的に解決し、将来にわたり持続可能な制度を構築すること。

四、国保保険料（税）軽減対象の拡大等に向けた千二百億円の公費投入を早急に実施するとともに、後期高齢者支援金の全面総額削減導入により生ずる財源を優先的に活用すること。

五、制度の運営に際しては、都道府県と市町村とで適切な役割分担がなされるよう、地方と丁寧かつ十分な協議を行うとともに、制度を運営している現場が混乱しないよう必要な準備期間を確保すること。

六、国民の健康寿命の延伸のため、保健師等必要な人材確保と所要の財政措置を講ずるとともに、保健事業に熱心に取り組む市町村を積極的に支援すること。

七、地域医療体制の充実強化のため、医師や看護師等の確保や地域偏在等の解消を図るとともに、十分な財政措置を講ずること。

八、社会保障・前番号の利用範囲の拡大の検討に当たっては、被保険者資格の適用適正化を推進するなど、被保険者利便性の向上と事務の合理化を実現すること。

九、国民健康保険組合の健全な運営を確保すること。

右決議す。

平成二十五年十一月二十一日

国保制度改善強化全国大会

会会長）をはじめとする陳情団が、衆議院第一議員会館、第二議員会館、参議院会館の3班に分かれ、大会決議事項の早期実現に向けた陳情を展開した。

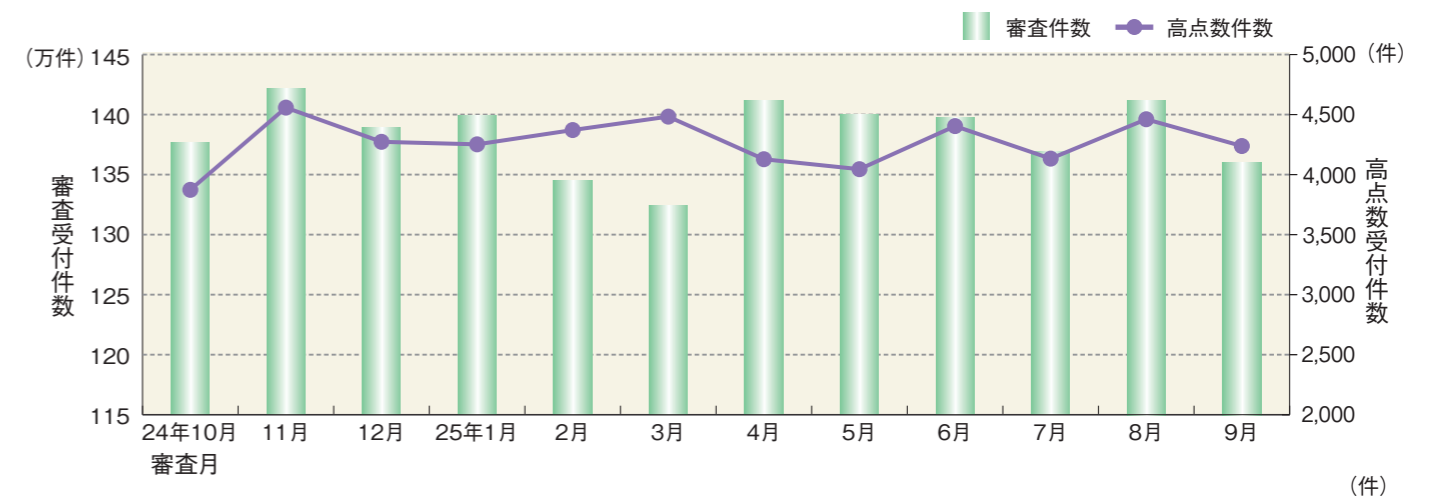
国民健康保険東北大会終了

10月24日(木)に山形県にて国保東北大会が開催された。今回で60回目を迎え、昭和29年11月に第1回社会保障政策促進東北大会として始まり、半世紀以上にわたって開催された国保東北大会は、一定の役割を終えたため本年をもって終了となった。

DATA LAND

目で見る医療費の動き

国保・後期高齢者分レセプト審査状況



審査月	24年10月	11月	12月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
審査受付件数	1,376,779	1,422,088	1,389,182	1,399,007	1,345,098	1,324,376	1,411,455	1,399,671	1,397,935	1,369,575	1,412,042	1,360,699
高点数件数	3,873	4,558	4,273	4,252	4,371	4,483	4,128	4,045	4,404	4,133	4,461	4,238
特別審査受付件数	24	31	39	17	32	22	29	26	25	29	29	27

*1 審査受付件数は、国保・退職・後期分の医科・歯科・調剤レセプトを対象。
 *2 特別審査分：40万点以上のレセプト（歯科分のレセプトは20万点以上）。
 *3 高点数：8万点以上40万点未満のレセプト。
 *4 *2~3共に返戻分・調剤分のレセプトを除く。
 *5 東日本大震災による概算請求分等は含まない。

最高点数レセプト 8月審査の国保医科で100万点超のレセプト発生

平成25年8月審査分(7月診療分)

(1) 国保		請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医科	1,050,514	入	31	男	70代	血液凝固異常	
歯科	125,607	入	31	男	60代	左側舌縁部悪性腫瘍	

(2) 後期高齢者医療		請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医科	779,001	入	31	女	70代	僧帽糸、大動脈弁および三尖弁の合併障害	
歯科	134,879	入	31	男	80代	右側上顎歯肉癌	

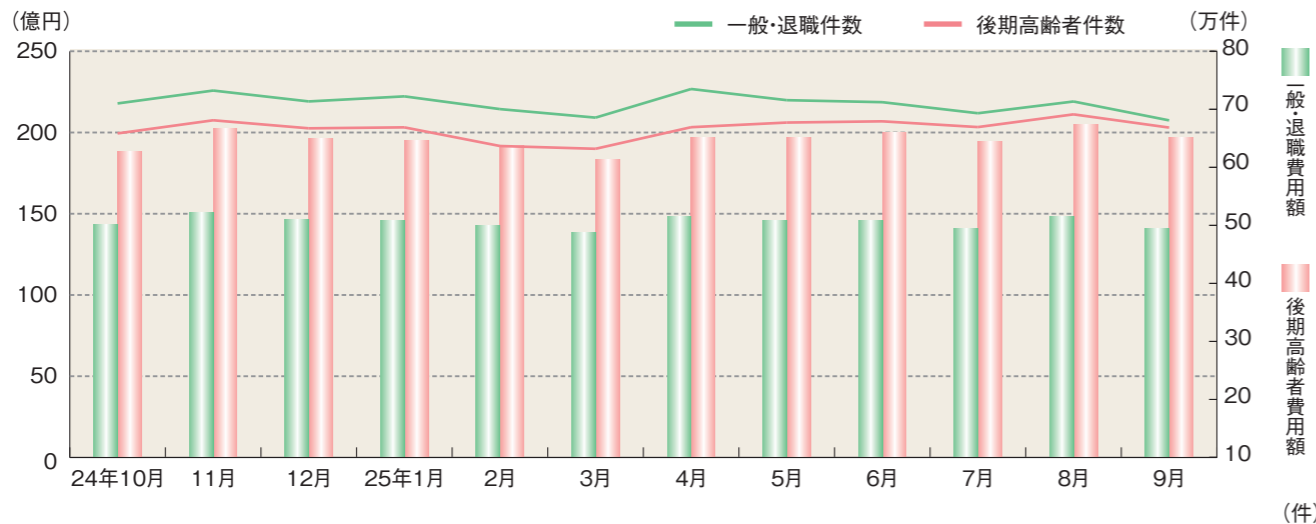
平成25年9月審査分(8月診療分)

(1) 国保		請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医科	768,560	入	16	男	70代	胸腹部大動脈瘤	
歯科	121,363	入	23	女	10代	顎変形症	

(2) 後期高齢者医療		請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医科	955,486	入	31	男	60代	特発性拡張型心筋症	
歯科	144,338	入	29	女	80代	右下顎骨周囲及び咽頭部ガス壊疽	

国保・退職・後期高齢者医療の動き

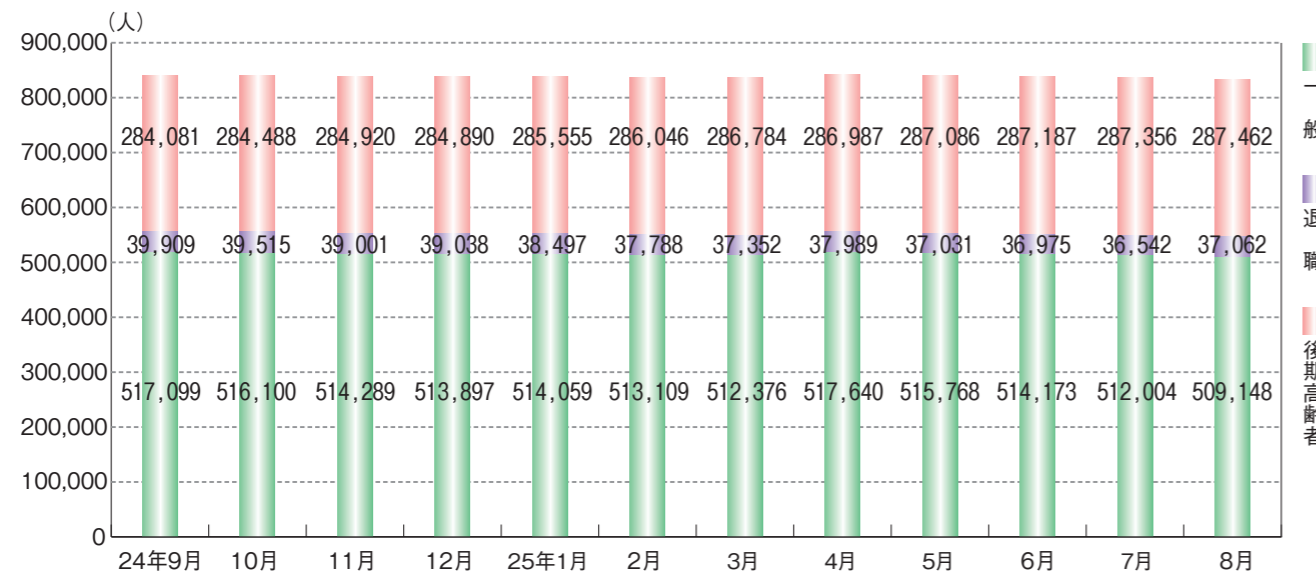
❖ 件数・費用額の動き (医科、歯科、食事・生活療養、調剤、訪看を対象。国保は県内61保険者の計。)



審査月	24年10月	11月	12月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般退職	14,351,359	15,086,454	14,616,125	14,560,690	14,259,837	13,868,782	14,835,778	14,582,525	14,561,236	14,115,625	14,810,682	14,062,547
後期	18,817,457	20,220,795	19,634,392	19,531,749	19,207,442	18,349,980	19,670,376	19,712,902	20,024,364	19,416,261	20,520,565	19,692,369
計	33,168,817	35,307,249	34,250,517	34,092,439	33,467,279	32,218,762	34,506,155	34,295,427	34,585,600	33,531,886	35,331,247	33,754,917

審査月	24年10月	11月	12月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般退職	0	0	0	0	0	2,278	8,768	2,908	1,211	3,443	0	0
後期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	2,278	8,768	2,908	1,211	3,443	0	0

❖ 被保険者の動き (県内61保険者の計)



*被保険者数は、福島県の「毎月事業状況報告書(月報)」による。
震災の影響等にて未提出保険者は、直近の提出月報にて集計。

地域別の医療費の動き

平成25年9月審査分

ここでは、59市町村を県北、県中、県南、会津、南会津、相双、いわきの7地区に分けて医療の動向をお知らせします。

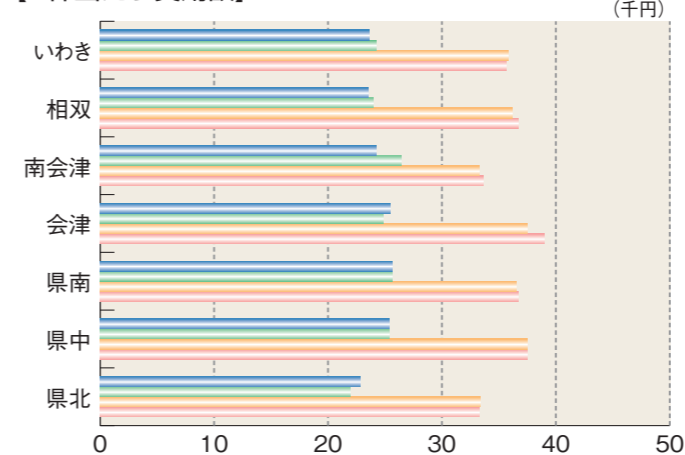


① 件数・費用額 (医科、歯科、食事・生活療養、調剤、訪看)

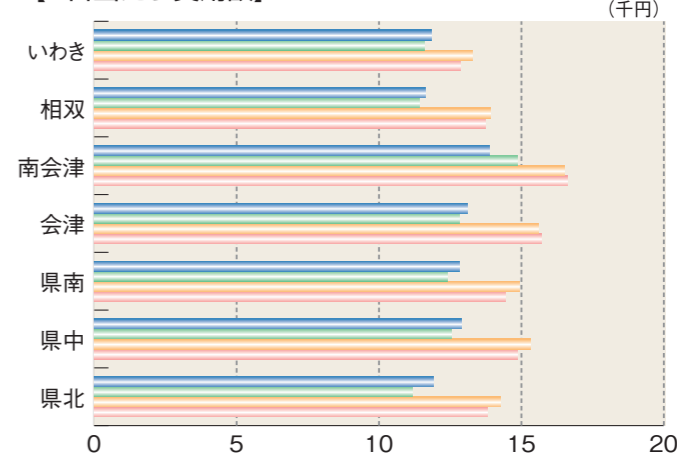
	一般 / 退職				後期高齢者			
	件数	対前年比	費用額	対前年比	件数	対前年比	費用額	対前年比
県北	160,108	106.76%	3,140,478,342	110.34%	172,189	101.62%	4,738,538,296	102.21%
県中	162,551	104.41%	3,549,434,456	104.38%	151,927	101.02%	4,692,310,688	101.50%
県南	41,114	103.42%	944,072,826	104.14%	39,968	101.30%	1,282,501,636	101.40%
会津	87,797	111.07%	1,856,220,498	112.51%	99,695	99.95%	3,008,677,176	96.68%
南会津	9,826	102.78%	213,614,054	97.87%	12,246	94.10%	360,023,570	95.56%
相双	90,540	107.12%	1,850,664,818	105.80%	68,359	103.05%	2,059,593,546	102.60%
いわき	123,814	96.88%	2,428,110,126	95.15%	124,100	99.09%	3,550,724,518	99.92%

② 諸率 (医科、歯科)

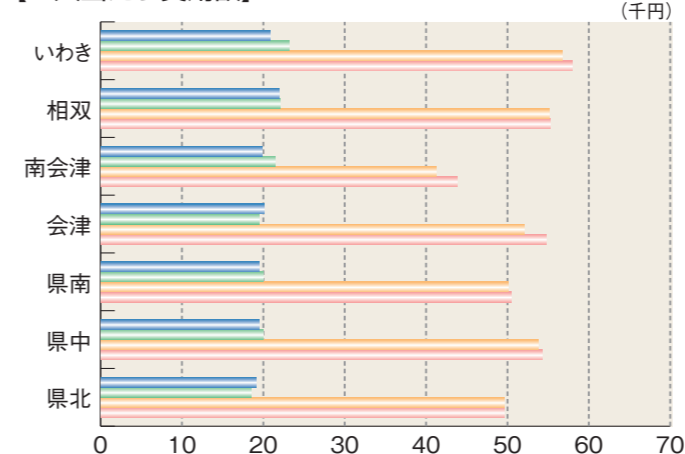
【1件当たり費用額】



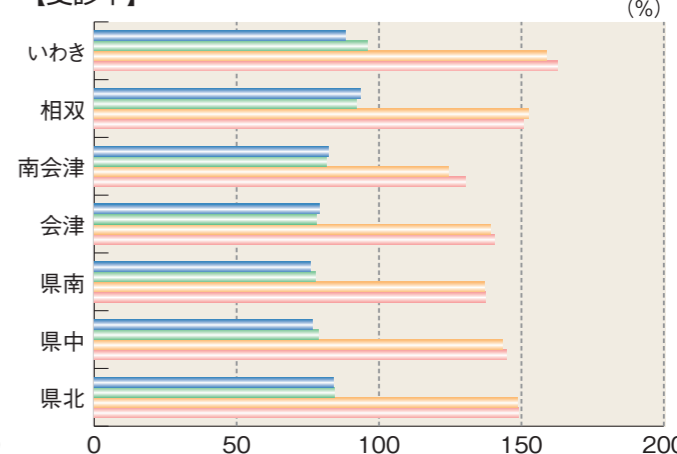
【1日当たり費用額】



【1人当たり費用額】



【受診率】

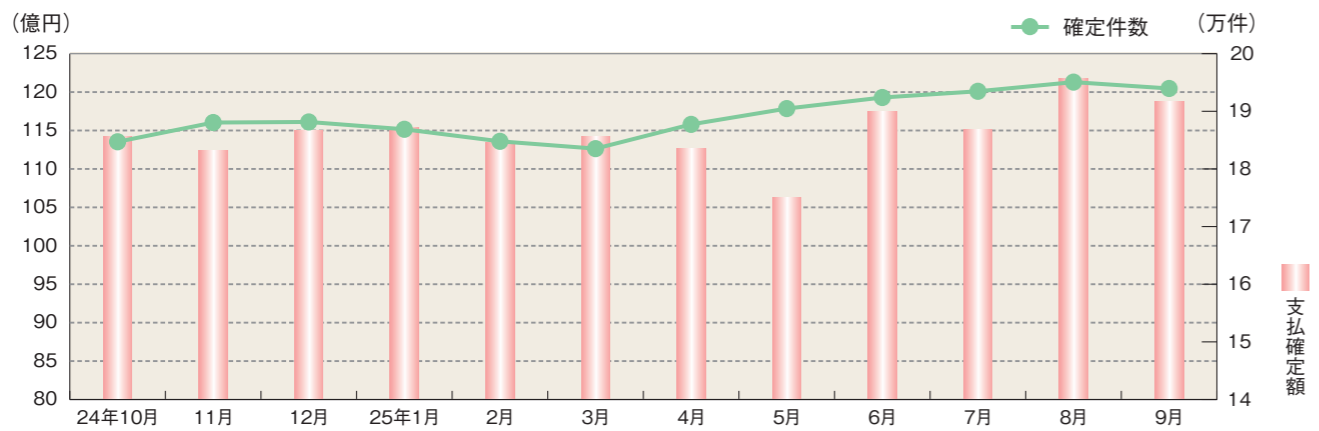


■【一般/退職】25年9月審査分 ■【一般/退職】24年9月審査分 ■【後期】25年9月審査分 ■【後期】24年9月審査分

*①②共に本会の審査支払確定値より算出し、東日本大震災による概算請求分等は含まない。

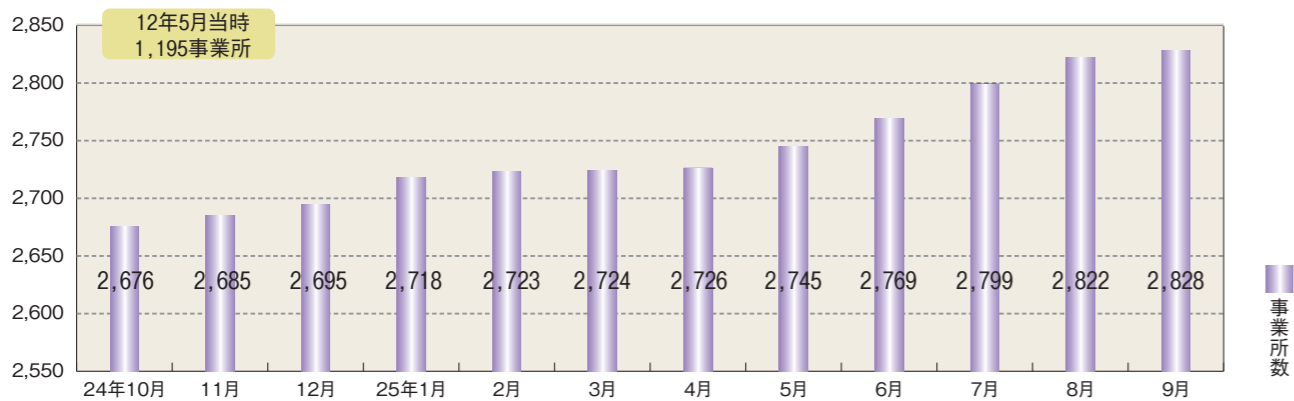
介護の動き

① 介護給付費支払状況

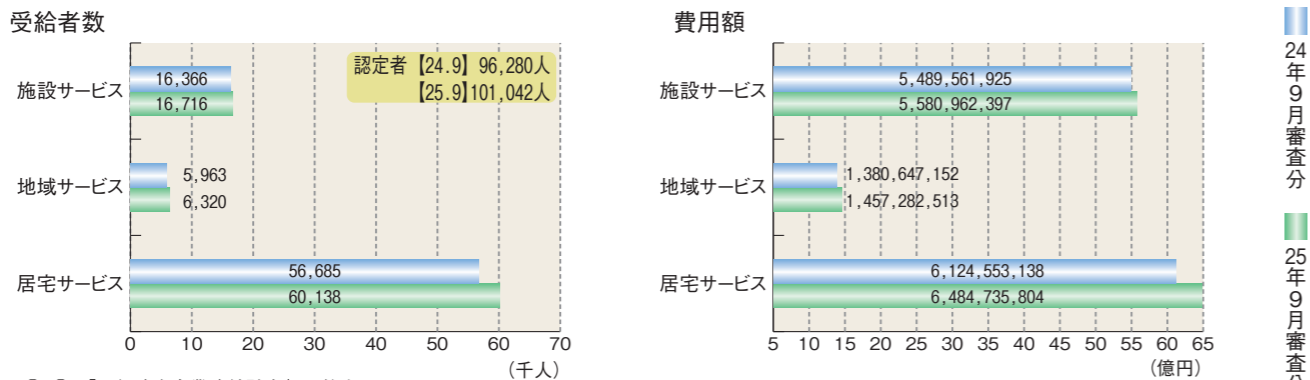


審査月	12年5月	24年10月	11月	12月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
受付件数	63,219	191,550	193,443	192,169	191,477	189,260	187,775	191,537	194,307	197,898	197,791	200,555	198,914
確定件数	60,069	184,715	188,052	188,159	186,881	184,792	183,527	187,739	190,472	192,397	193,477	195,063	193,966
支払確定額	3,837,411	11,417,457	11,240,976	11,504,046	11,537,522	11,339,978	11,420,886	11,268,644	10,627,157	11,753,457	11,519,752	12,175,898	11,874,150

② 事業所数



③ サービス別 受給者数・費用額 (25年9月審査分 対前年同月比)



* ①、②は「国保連合会業務統計表」より算出。
* ③は「保険者別 国保連合会業務統計表(確定給付統計)」より算出。

介護～一人当たり費用額

平成25年9月審査分 (円)

保険者名	一人当たり平均費用額	一人当たり居宅サービス費用額	一人当たり地域サービス費用額	一人当たり施設サービス費用額
1 檜枝岐村	143,115	47,490	178,259	265,990
2 塙町	145,423	96,969	208,357	258,053
3 福島市	150,385	104,320	223,836	325,902
4 会津若松市	154,407	106,569	173,570	334,613
5 下郷町	154,541	89,995	254,395	342,225
6 郡山市	157,297	106,583	235,689	337,522
7 いわき市	157,693	107,425	240,860	343,065
8 国見町	158,261	113,793	122,111	340,184
9 伊達市	159,649	106,915	169,120	344,032
10 三春町	160,070	110,892	294,203	337,062
11 玉川村	160,418	86,087	165,230	343,822
12 棚倉町	160,627	97,642	209,742	319,258
13 葛尾村	160,672	109,072	244,278	347,510
14 南会津町	160,700	96,559	177,932	325,547
15 田村市	161,963	106,370	280,446	336,294
16 北塩原村	163,365	90,996	255,260	327,575
17 白河市	164,332	107,541	190,208	337,287
18 小野町	164,842	107,618	229,987	334,584
19 昭和村	165,009	96,477	0	316,131
20 鏡石町	165,360	103,348	226,571	318,410
21 柳津町	165,383	78,245	258,320	346,743
22 平田村	165,506	104,946	285,142	329,147
23 須賀川市	166,716	111,523	256,399	334,987
24 石川町	167,028	99,911	280,441	339,872
25 只見町	167,584	99,390	216,420	321,123
26 矢祭町	168,362	101,488	239,421	299,927
27 浪江町	170,250	107,361	287,113	334,508
28 新地町	170,431	109,121	284,026	319,649
29 大熊町	170,554	112,836	250,959	337,187
30 猪苗代町	170,596	99,666	244,378	333,444
31 西会津町	170,873	111,361	308,453	319,993
32 磐梯町	172,285	112,659	210,281	326,801
33 喜多方市	172,842	97,922	249,602	340,064
34 相馬市	172,844	119,231	193,020	333,496
35 川内村	174,678	110,105	265,497	320,954
36 西郷村	175,248	107,982	210,682	331,142
37 南相馬市	175,352	114,659	242,288	332,459
38 広野町	175,437	99,035	217,458	337,957
39 桑折町	175,722	121,094	273,202	342,482
40 二本松市	175,843	112,157	209,396	323,526
41 泉崎村	177,072	119,119	298,895	308,676
42 川俣町	177,366	118,139	237,729	335,306
43 中島村	177,547	108,625	284,977	347,633
44 会津坂下町	179,447	128,722	252,739	319,654
45 矢吹町	180,068	120,640	296,314	336,632
46 本宮市	181,464	113,202	227,614	325,889
47 古殿町	182,142	110,840	339,590	337,973
48 飯舘村	183,095	90,393	254,255	368,760
49 会津美里町	183,799	126,057	354,906	326,953
50 鮫川村	184,365	103,891	362,347	307,585
51 富岡町	184,442	118,178	261,940	353,301
52 湯川村	185,017	112,174	341,546	263,745
53 浅川町	185,589	125,735	251,025	320,038
54 天栄村	188,913	121,857	289,880	339,780
55 双葉町	192,974	127,061	291,057	370,274
56 金山町	193,724	118,537	259,074	325,214
57 檜葉町	195,237	113,991	318,289	331,485
58 大玉村	201,701	127,541	194,106	328,102
59 三島町	217,514	117,401	0	326,611
平	171,918	107,550	240,319	329,053

* 「保険者別 国保連合会業務統計表(確定給付統計)」より算出し、東日本大震災による概算払分等は含まない。
* 一人当たり平均費用額の低い順に掲載。
* サービス受給者一人当たりで算出。

10月October

3日 ●保健活動推進協議会会津部会研修会：会津若松市

●第53回全国国保地域医療学会：島根県（～5日）

4日 全国から国保診療施設関係者等が約1700人集まり、国民健康保険制度並びに地域包括医療・ケアの理念に則り、地域医療及び地域包括医療・ケアの実践の方途を探求するとともに、関係者の相互理解と研鑽を図ることを目的に開かれました。

●平成25年度保険税収納率向上対策研修会：福島市・杉妻会館

7日 県内から国保税（料）担当者77人が集まり、収納実務に関する知識や対策などを習得することにより、収納率向上に寄与することを目的に開かれました。研修会では、税理士・社会保険労務士の中村昌道氏を迎え、「先進的滞納整理の進め方」等5課目に分けて講演され、午後からは収納場面を想定したロールプレイングを行いました。

●第三者行為求償事務研修会：福島市・杉妻会館

15日 第三者行為求償事務が県内の各市町村、国民健康保険組合、後期高齢者医療広域連合の担当者において、円滑に処理されるよう必要な基礎知識等を習得し、資質向上を図ることを目的に県内から46名が集まり開かれました。講演では、渡辺健寿法律事務所の渡辺健寿弁護士を迎え「第三者行為求償事務の関連法令について」講演されました。

●審査委員会：本会大会議室（～21日）

18日 ●歯科部会：本会役員室

●柔道整復審査委員会：本会会長室

●国保地区部会連絡会議：本会役員室

各国保地区部会の幹事が集まり、平成25年度の実施計画、実施状況が報告されました。

22日 ●広報委員会：本会役員室

各国保地区部会の広報委員が集まり、平成26年度の国保広報実施計画（案）について協議を行いました。

23日 ●介護給付費審査委員会（医療部会）：本会小会議室

●第60回国民健康保険東北大会：山形県

24日 東北7県の国保関係者の代表者が集まり、各県から提出された50議題を審議し、医療保険制度一本化を早期に実現など11項目を決議しました。

25日 ●第三者行為求償事務相談業務：本会役員室



11月November

1日 ●市町村介護保険担当者会議：福島市・杉妻会館

●保健事業の情報交換：川内村

5日 医療費及び疾病の状況、特定健診・保健指導の進行状況等について情報交換しました。

7日 ●保健活動推進協議会県北部会研修会：福島市

●第三者行為求償事務個別説明会：中島村

8日 医療費適正化対策における求償事務の重要性や有効性等を説明するとともに、国保総合システムを活用した交通事故の発見方法等について、実際に保険者へ出向き説明しました。

●国民健康保険法施行75周年記念式典：福島市・ホテル福島グリーンパレス

12日 国民健康保険法施行75周年にあたり、これを記念して国民健康保険事業の運営、発展に貢献された功労者96名を表彰するとともに、本事業の一層の充実と発展を期するため開かれました。

●保健活動推進協議会県南部会研修会：白河市

●国保問題調査委員会：本会役員室

福島県と各国保地区部会より選出された委員9名が集まり、次の事項について協議しました。

- ◎平成26年度一般負担金について
- ◎平成26年度各種手数料単価について
- ◎保険者から期待される保健事業を目指して
- ◎平成26年度福島県国民健康保険 高額医療費共同事業（試算）・保険財政共同安定化事業（試算）
- ◎平成26年度国保広報事業実施計画（案）
- ◎診療報酬審査委員会の充実に向けた取り組みについて
- ◎一次審査の充実に向けた取り組みについて
- ◎保険者のレセプト点検事務支援に関する取り組みについて
- ◎国保総合システムにおける高額療養費算定処理にかかる支給決定額誤り及び是正処理について
- ◎平成26年度新システム等の稼働に向けた連合会ネットワークシステム接続機器の更新作業等について
- ◎一拠点集約化システムの進捗状況について
- ◎介護電子請求受付システムについて
- ◎保険者回線高速化について
- ◎規制改革会議「健康・医療ワーキング・グループ」の検討に対する意見について

20日 ●第三者行為求償事務個別説明会：双葉町

●審査委員会：本会大会議室（～24日）

●歯科部会：本会役員室

●柔道整復審査委員会：本会小会議室

21日 ●国保制度改善強化全国大会：東京都・日比谷公会堂

国民健康保険中央会、都道府県国保連合会など国保関係9団体は、国保制度改善強化全国大会を開き、国民皆保険を堅持するため、全ての国民の給付と負担の公平に向けて「医療制度の一本化の早期実現」を求めるなどの9項目を決議しました。

25日 ●保健事業の情報交換：飯舘村

●介護給付費審査委員会（医療部会）：本会小会議室

26日 ●第三者行為求償事務個別説明会：石川町

●国保主管課長部会：福島市・杉妻会館

27日 国保保険者、後期高齢者医療広域連合の主管課長を対象に、国保問題調査委員会（18日）の内容を協議しました。また、県保健福祉部国民健康保険課長の渡部洋子氏から「国民健康保険を巡る現状と課題」と題して講演がありました。

29日 ●医療費分析モデル事業第3回学習会：福島市・ふくしま中町会館

●第三者行為求償事務相談業務：本会役員室



連合会行事予定

12月1日～1月31日

12月 December

4日	保険者協議会第1回企画調整部会	国保会館
5日	平成25年度福島県国保運営協議会連絡会	福島市
9日	田村市情報交換	田村市
12日	保険者協議会研修会	杉妻会館
19日	川俣町情報交換	川俣町
20日	臨時理事会	国保会館

1月 January

24日	地域包括医療・ケア研修会	東京都
中旬	国保医学部会役員会	福島市
	福島県在宅保健師の会「絆」役員会(第2回)	国保会館



連合会からのお知らせ

永年の功績をたたえて

国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰

国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰式が10月31日に東京都霞ヶ関の厚生労働省講堂で開かれ、本県から2名が受賞されました。



福島県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
栗原 陽一氏



福島県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
山口 克彦氏

編集後記

●いよいよ冬本番を迎え、インフルエンザ等の感染症が流行り始めてきました。近年、予防のためマスクをする人が多く見られますが、表情や話し声が聞きづらいなどコミュニケーションを取るときには気を使います。人間は表情や声から相手の感情を読み会話をするとされていますが、感染症の予防には良いが、コミュニケーションの予防にはならないよう心がけたい・・・(安)

TOPICS



国民健康保険法施行75周年記念式典

11月12日(火) 福島市『ホテル福島グリーンパレス』2階 瑞光東の間で「国民健康保険法施行75周年記念式典」を開催し、国民健康保険事業運営、発展に貢献した96名を表彰するとともに本事業の一層の充実と発展を誓った。



▲式辞を述べる鈴木会長

国民健康保険法施行75周年記念式典は、本会副会長の目黒吉久只見町長の開会のことばで始まり、本会会長の鈴木義孝三春町長が、長年にわたる国保制度の発展のため尽力された方々に敬意を表するとともに、「国民健康保険が、健全で安定した制度として、益々発展していくことを祈念する」と式辞を述べた。

表彰式では、各表彰者の代表者に記念品の贈呈が行われ、佐藤雄平福島県知事（菅野裕之保健福祉部長代読）、柴田雅人国民健康保険中央会理事長、高谷雄三福島県医師会長（有我由紀夫福島県医師会副会長代読）から祝辞をいただいた後、北海道・東北各国保連合会等から寄せられた祝電が披露され、記念式典は閉会となった。



▲福島県知事表彰



▲国民健康保険中央会表彰



▲福島県国民健康保険団体連合会会長表彰

福島県知事表彰
国民健康保険中央会表彰
福島県国民健康保険団体連合会会長表彰

vol.04

健康な食彩



ポパイのホウレン草

紅葉の赤、橙、黄、茶色が美しい晩秋に、冷気と太陽の光をたっぷり受けた濃緑色の野菜畑が一際目をひきます。もう少しで無彩色の世界を迎える会津に暮らしていると目に眩しい光景です。

さて、寒くなると一段と甘味が増すホウレン草、冬が旬です。カロテン、ビタミンB₁、B₂、C、葉酸、鉄を多く含む栄養価が高い野菜の代表で、特に冬のは夏のもの3倍のビタミンCが含まれています。体に好ましくないシュウ酸や硝酸も含まれていますが、水溶性のため茹でて水にさらせば大分除けます。子どもの頃、危機に陥った水兵・ポパイが缶詰を握りつぶして中のホウレン草を流し込むように食べると、たちまち筋肉隆々の逞しい腕になり、恋人のオリーブを救い出すというアニメを見て以来、ホウレン草はすごい野菜だと脳裏に焼きついています。ポパイのホウレン草のような即効性は期待できませんが、ビタミンが不足しがちな冬こそ食べたい野菜です。筆者のお気に入りにはホウレン草と豚肉のしゃぶしゃぶ。ホウレン草は軽く下茹でし、おろしポン酢醤油で食べます。葉のほわっとした滑らかさと茎のしゃっきり感、肉のうま味、大根のほのかな辛味、ポン酢の酸味が調和して、五感で美味しさを感じます。毎晩食べても飽きないから常夜鍋と言うそうです。